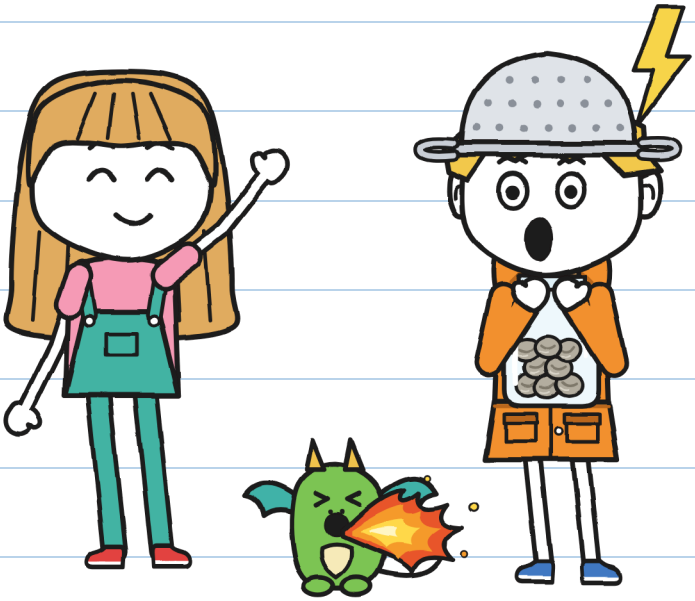
ありえない はいたつ ・ 2

かみなり まえに あけるな

Lui Eriksson



（グニの）

サイズ XS
はじめての どくしょ ・ 5+

ありえない はいたつ・2
かみなり まえに あけるな

文と絵：Lui Eriksson

サイズ XS ・ はじめての どくしょ ・ 5+

日本語版：LinguAula

初版：2026

© 2026 Lui Eriksson · info@linguaula.com

自由にコピーして、学校でも家でも使えます。

シリーズの 2さつめ。1さつめは「このにもつは かみつく」。

LinguAula

linguaula.comで しょうごとに れんしゅう

かみなりは ひとつも けがを しなかった。 —J.



ほかの だれの ものでも ない。 —J.

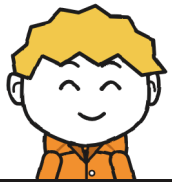
みつけても、かみなり

まえに あけちゃ だめ。

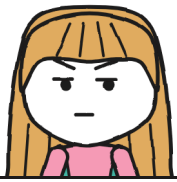
おはなしの なかだけ

おはなしの なかだけ。きみは だめ。 —J.

だれが だれ？



グニは あらしの ハンター。



フリータは みどりで かく。



パンくずは ドラゴンの こ。



トニョは イナズマびんの
はいたつやさん。



フローラは にわし。



ベラさんは ドラゴンの
せわを する。



マラさんは まじょ。

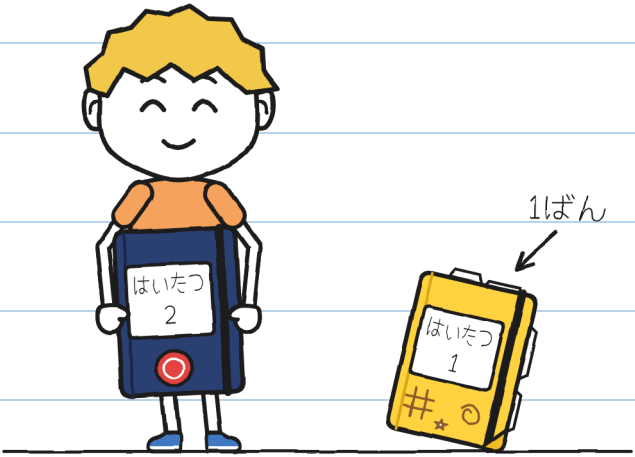


R.は にもつを おくる。

グニの
はいたつノート2

こうしき。

「こうしき」は、わたしが　さきに　よむ。　一1.



ノート1は　おわった。

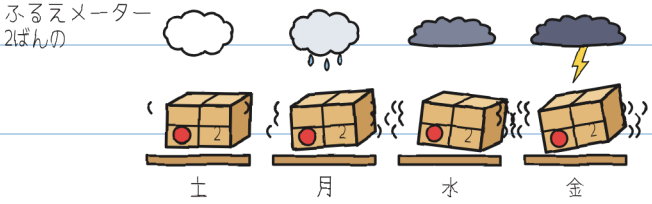
マラさんが　これを　くれた。

えを　かいちゃ　だめ　だって。

だい1しょう

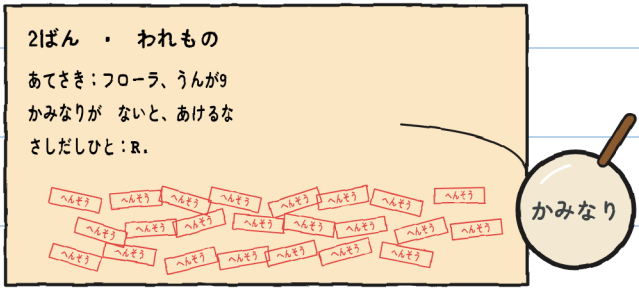
あらしの ハンター

マラさんの みせで
にもつが ふるえている。
ぜったい さわらない。
ドラゴンの こ、パンくずは
ぼくの まねを する。
もどってきた にもつは あと 19こ。



どようびに あらしが くる。 ー1.

もどってきた にもつを
うけとったら、サインを する。
しないと、よあけに もどる。



2ばんの にもつには、
へんそうの はんこが 23こ。
にかい かぞえた。 —J.

「23かい、わたしが はこんだ」
と マラさんは いった。「どれも
あらしの ひじゃ なかった」

マラさんは 2ばんの にもつを
もって まっていた。トニョも いた。
「これは あなたたちが とどけて」と
マラさんは いった。きょうの ごご。



フリータは おおきく ジャンプした。

マラさんの じょうけんは みっつ。

1. しゅっぱつは ごじ。

2. かぞくには いってある。

3. かみなりが なったら あける。

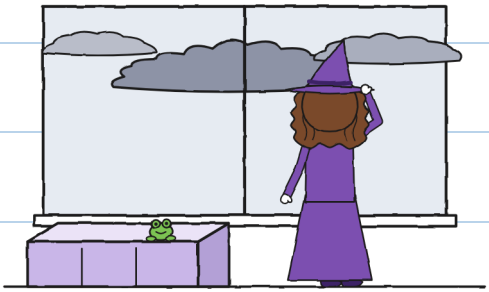
「マラさんは いかないの？」

と フリータが きいた。

「ここで やる ことが ある」

と マラさんは いって、

はいいろの そらを みた。



やる ことって なに？ ―J.

フリータが ぼくを みた。

「あらしは すき？」

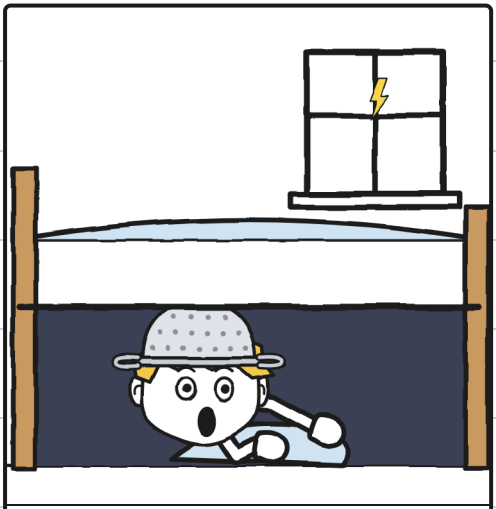
ぼくは よく ある ことを いった：

「だいすき。まえの まちでは、

あらしの ハンターだった」



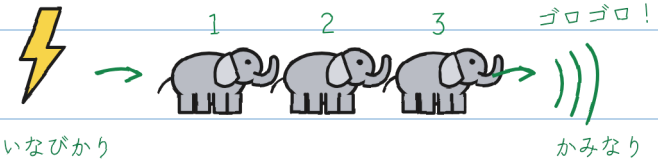
いった こと



おきた こと

ベッドの したの ハンター。 —J.

フリータは あらしの
かぞえかたを おしえて くれた。



ぞう1とう、ぞう2とう……

ぞう1とう＝1びょう

ぞう3とう＝1キロ

ぞう0とう＝まうえ！

↖ これは あける かみなり。
とおくのは だめ。

ぞうが おおいほど、とおい。

かみなり：なかへ！

わかれば こわく ない。 —J.

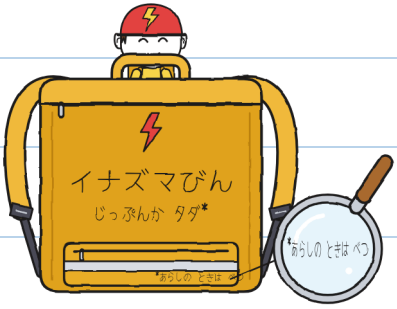
ぼくは かぞえなくても
いい。でも かいておいた。

トニョは ちいさい じを よんだ。

「イナズマびんは、

あらしの ひは なし」

「まだ だよ」と フリータ。



トニョも ついて きた。

ごじに いえに いった。

「あなた、かみなりが なると……」

と おかあさんは いった。

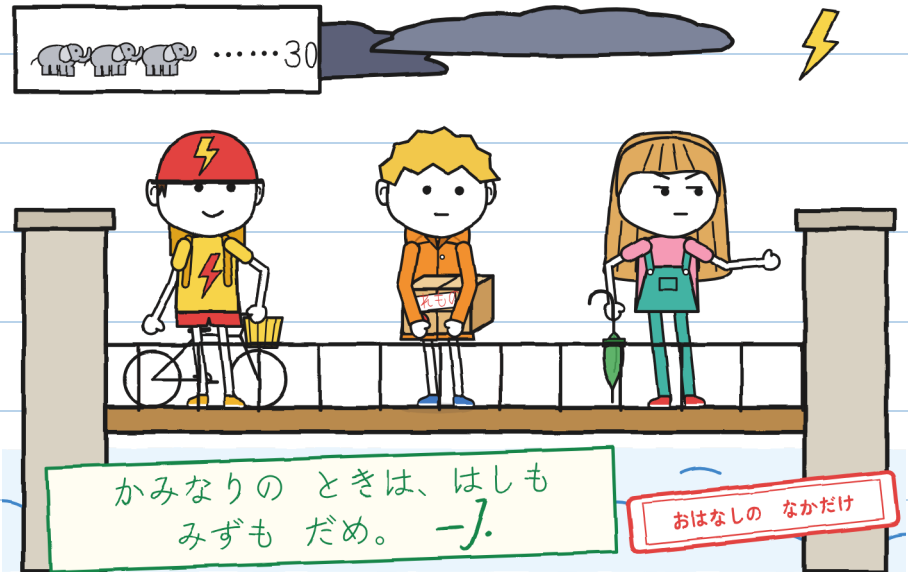
「いってきまーす、おかあさん！」

なに？ —J.

おおはしを わたった。

フリータは みずに まじめな

かおで あいさつした。



フリータは ぞうを 30とう

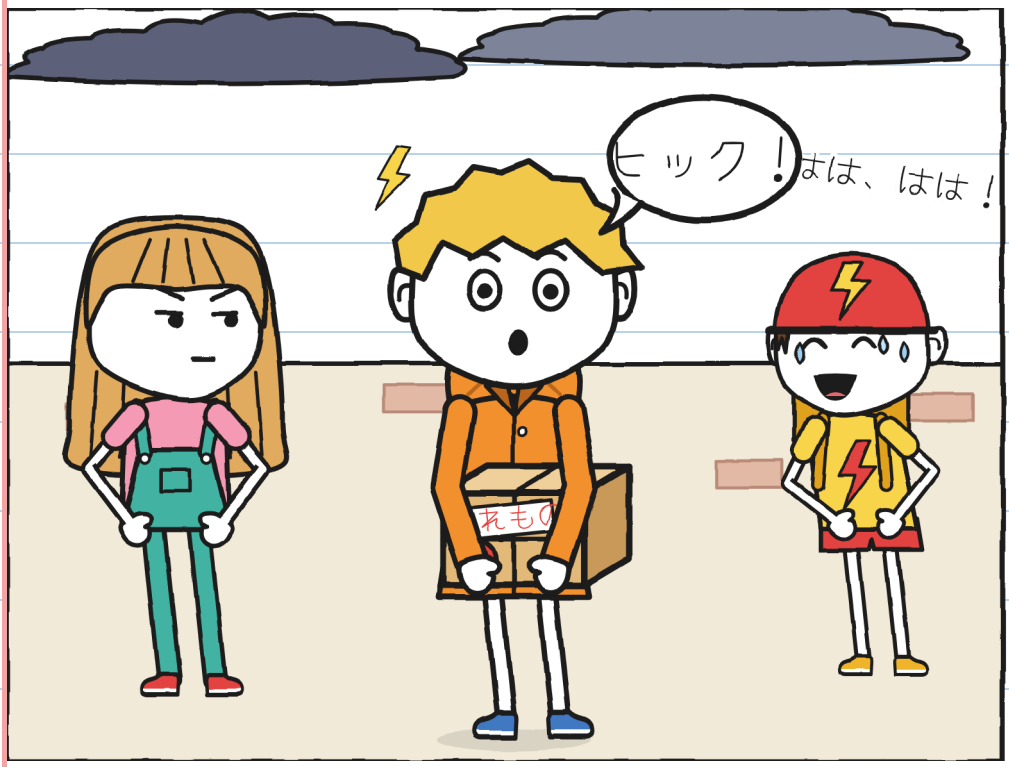
かぞえた。ゴロゴロ。

「もう あけて いい？」

と トニョが いった。

「あれじゃ　にもつは　あかない」

と　フリータは　いった。かくれよう！

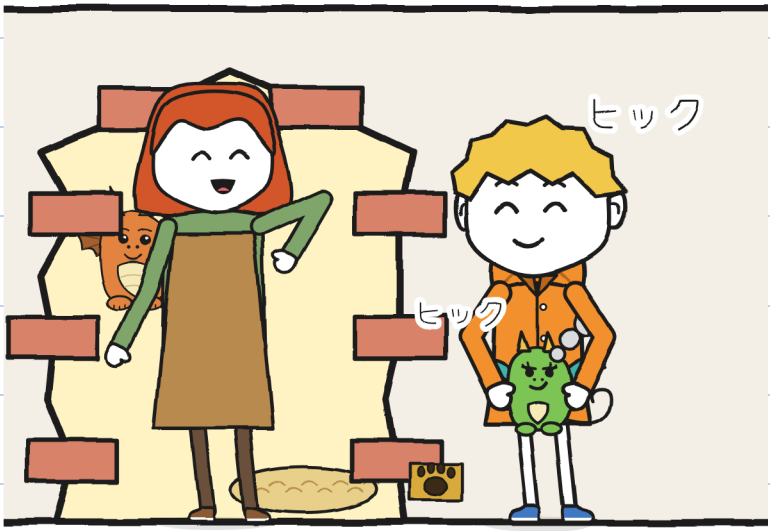


かみなりが　なるたびに、しゃっくりが

でる。こわいんじゃ　ない。

それを　こわいって　いうの。　—J.

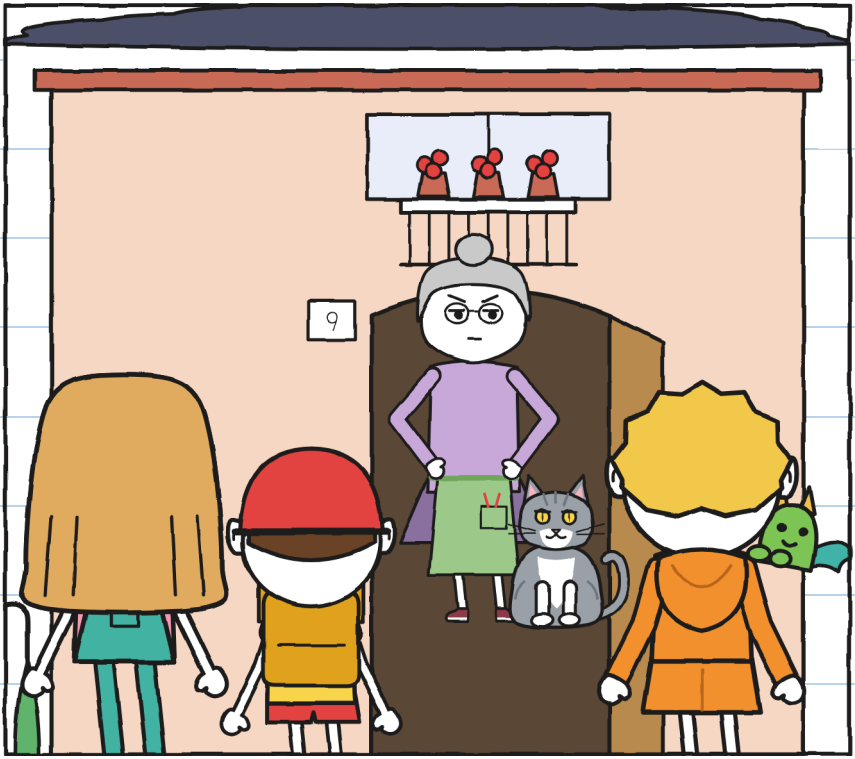
ベラさんが パンくずと まって いた。
「あなたの まねを
なんでも するよ、グニ」



かみなりが なった。ぼくが
ヒック。パンくずも ヒック。
「すぐ なかへ！」
と ベラさんが いった。

フローラの いえは、

ゼラニウムの いえ。



フローラが ドアを あけた。

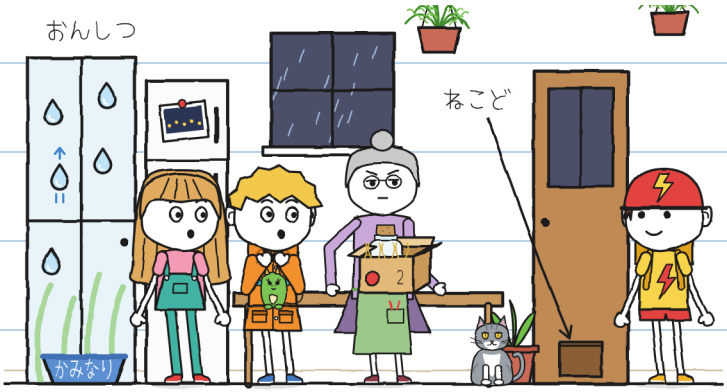
「はいりなさい」と いった。

「わたしは いしに サインしないよ」

だい2しょう

カミナリ！

フローラの だいどころは
しょくぶつで いっぱい。
トニョは じてんしゃを いれた。



ガラスに かいた みずの つぶ。
「R.の ガラスよ。あめは とおす」
と フローラは いった。

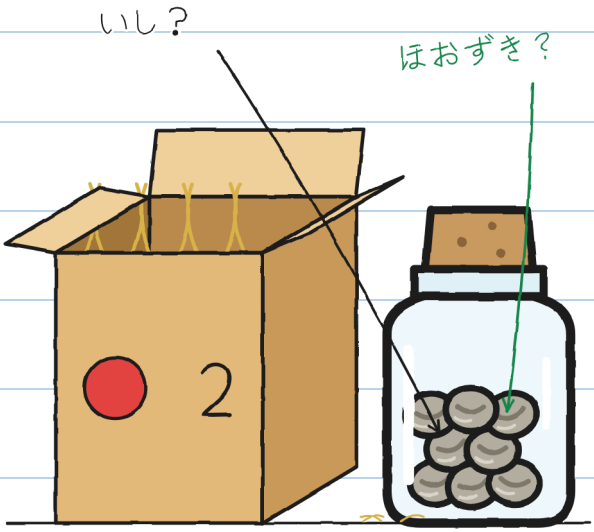
フローラは はこを あけた。

なかには、はいいろの たまが やっつ。

「R.は ほおずきを くれると

いって、いしを よこす」

と フローラは いった。



「ほおずきって なに？」

と ぼくは きいた。

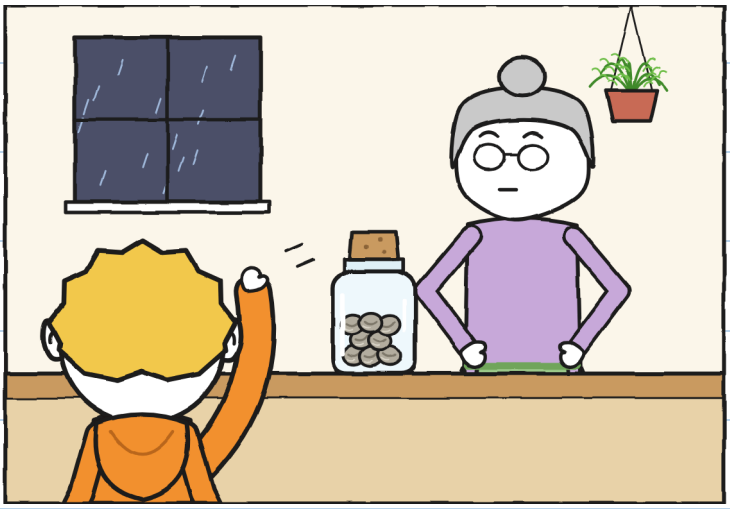
フローラは うんがの ふるい
しゃしんを みせて くれた。



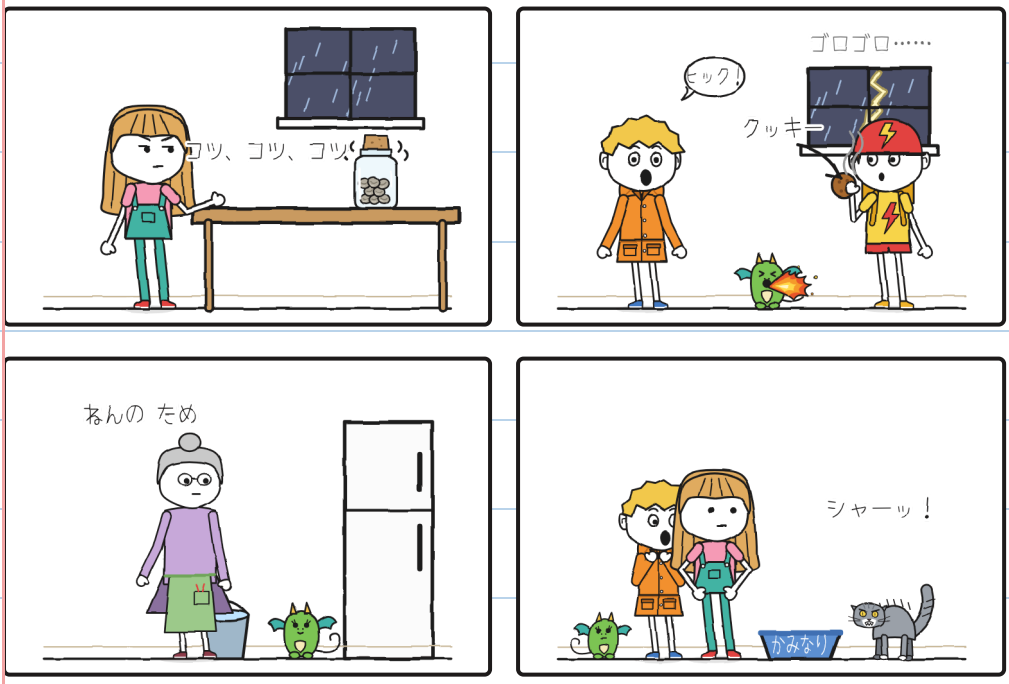
「かみなりの ひかを ためる
しょくぶつよ」と フローラは
いった。「R.は こなく なった」
だから うんがは くらい。

いたの はしが こわい。 —J.

「R.は いつも やくそくを
まもる」と フローラは いった。
「にじゅうさんかい、いしが きた」
「かみなりを まって あけた こと、
ある？」と ぼくは きいた。
フローラは ぼくを みた。
「わたしは だれも またない」
と いった。「かみなりでも ね」



フローラの ねこは カミナリ。
くもみたいに はいいろ。
ぼくたちは だいどころで
あらしを まった。

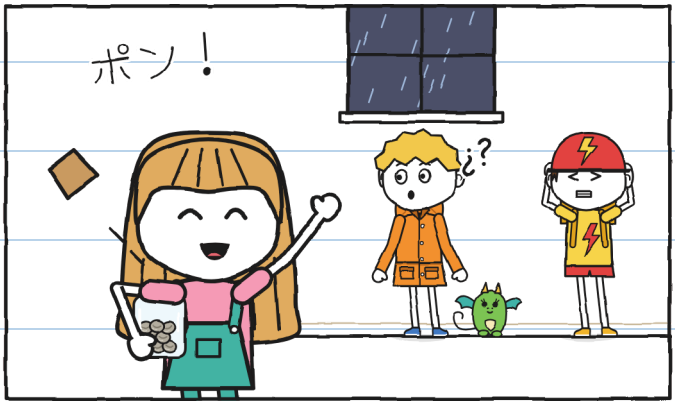


まつのが いちばん いや。 —J.

びんが チリン、チリンと
なった。フリータは
かぞえた：「ぞう12とう」。
それから：「9とう」。
パンくずが ちいさな ひを ふいた。
カミナリが とびだした。
「カミナリーーー！」
と フローラが さけんだ。



そして フリータが びんを あけた。



「かみなりが なった！」

と フリータは いった。

かみなりは なって いない。

さけんだのは フローラ。

カミナリは ねこの なまえ。

「カミナリ！」って

きこえた。ねこだった。 —J.

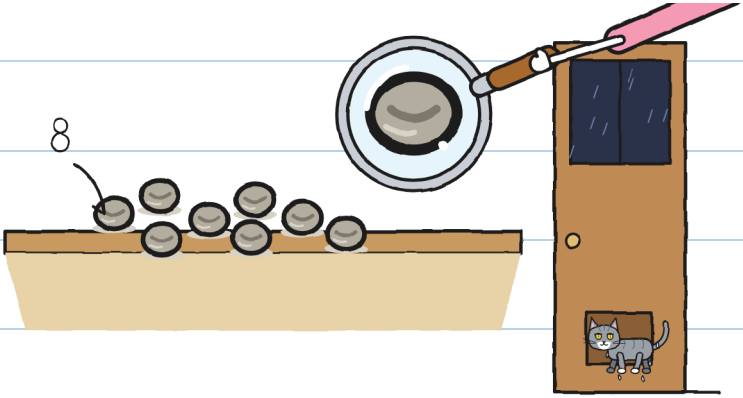
びんは しずかに なった。

なかには、はいいろの たまが

やっつ。つめたくて、うごかない。

「すじが あるよ」

と フリータは いった。



カミナリが ぬれて もどった。

「やっぱり いしね」

と フローラは いった。

フリータは まっあかに なった。

「いしじゃ ない、たねだ」

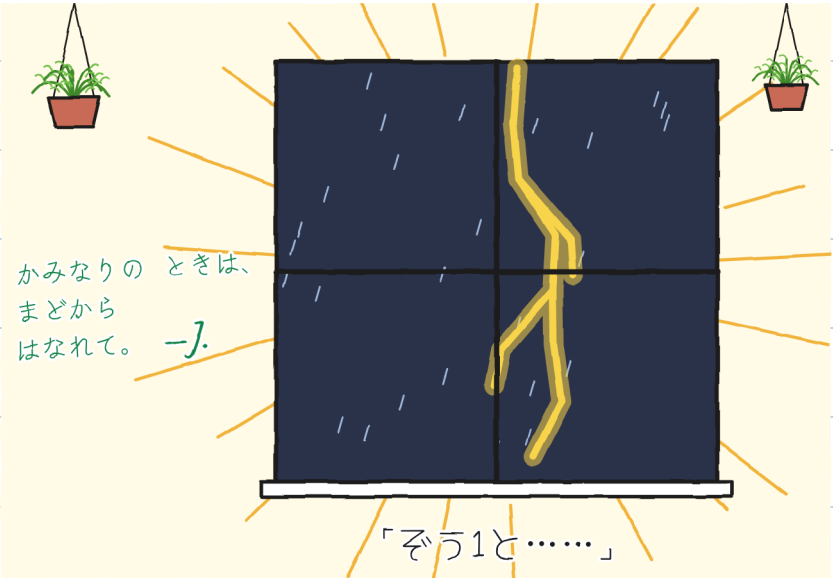
と ぼくは いった。ねむってる。

「たねなら しょうめい して

みなさい」と フローラは いった。

ろくじに なった。いなびかり。

フリータが かぞえ はじめた：



そして ほんものが きた。



かみなりと いなびかりが おなとき。
あらしは まうえ。ガラスが
ふるえた。

そして でんきが きえた。

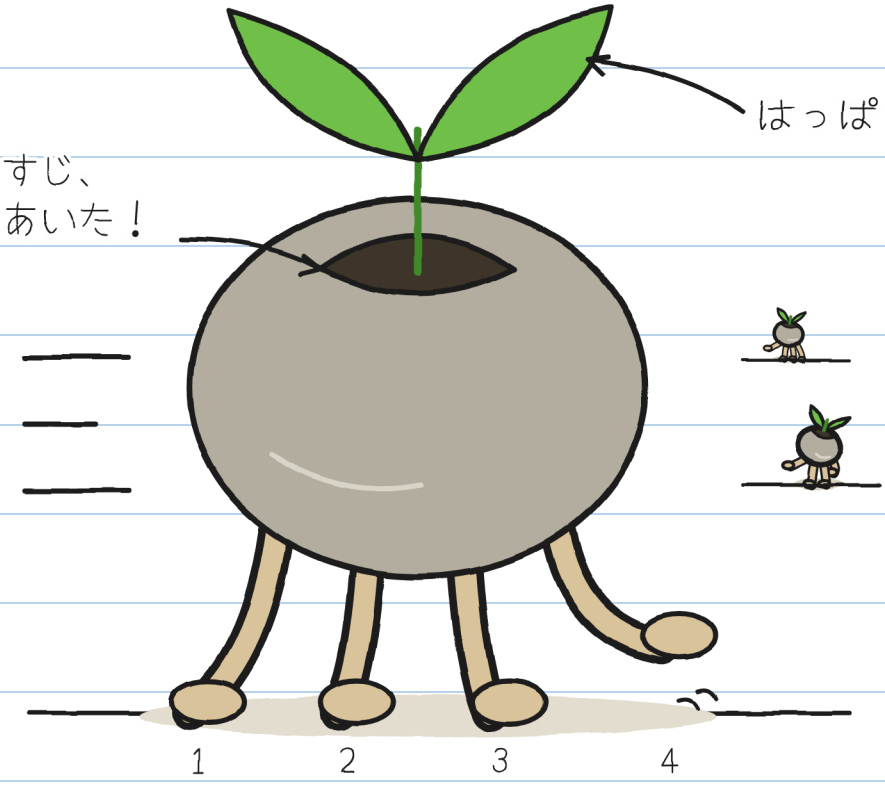


ヒック！

ぼくは ヒック。パンくずも
ヒック：ボウッと ひ。
テーブルは からっぽだった。



ほおずきの たね
（めざめた）



ねの ちいさな あし 4ほん

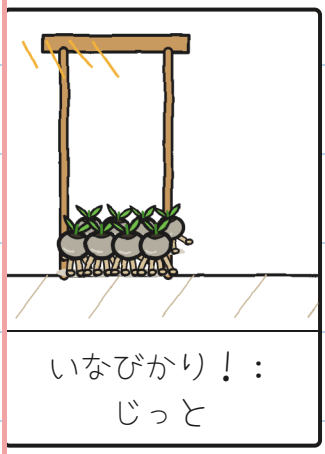
いしに あしが あった。

それと、いそいで いる。 ーJ.

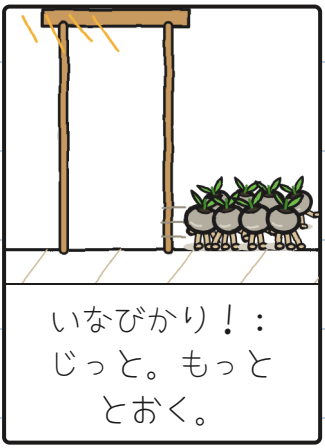
だい3しょう

みないと うごく

くらやみで：トト、トト、トト。
たまは はしったが、いなびかりごとに
とまった。ぼくは ざるを かぶった。







たねで だるまさんが ころんだ。 —J.

フローラは ライトを たねに むけた。

たねは とまった。

「たねだ！ めざめてる！」

と フローラは さけんだ。

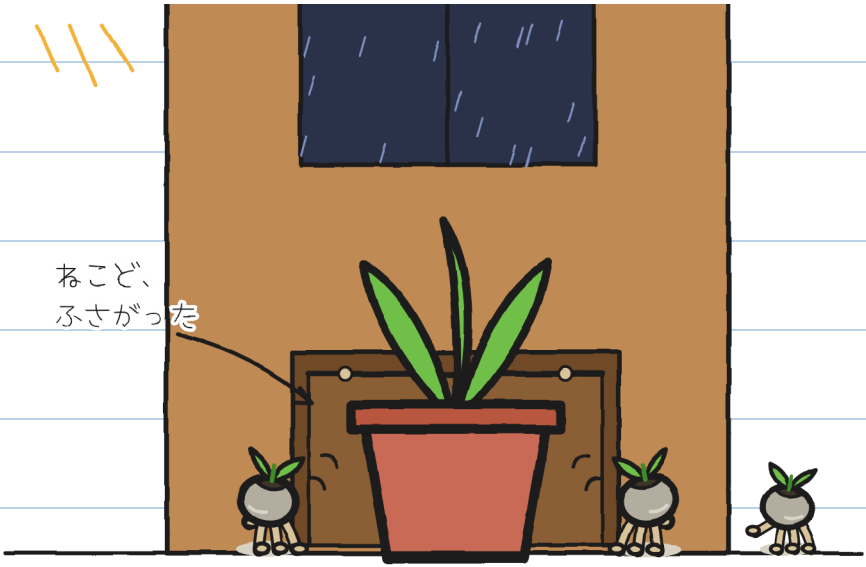


ライトを うごかすと、

ふたつめが はしった。

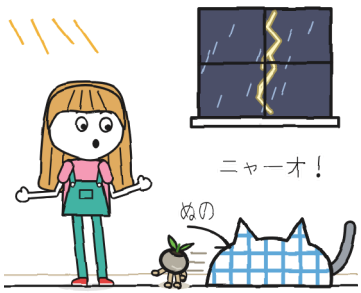
ひかの なかでは とまる。くらやみでは はしる。ライトは たりない。

たねは みんな ねこどへ
いく。フローラは おおきな
はちで ふさいだ。
「あらしの ぬれた つちを
さがして るのよ」



たねは だいどころ じゅうに
ちらばった。くらかった。

ありとあらゆる ことを やった：



フリータ：カミナリを
つかまえた。



トニョ：カミナリが トニョを
つかまえた。



パンくず：ひとつ！

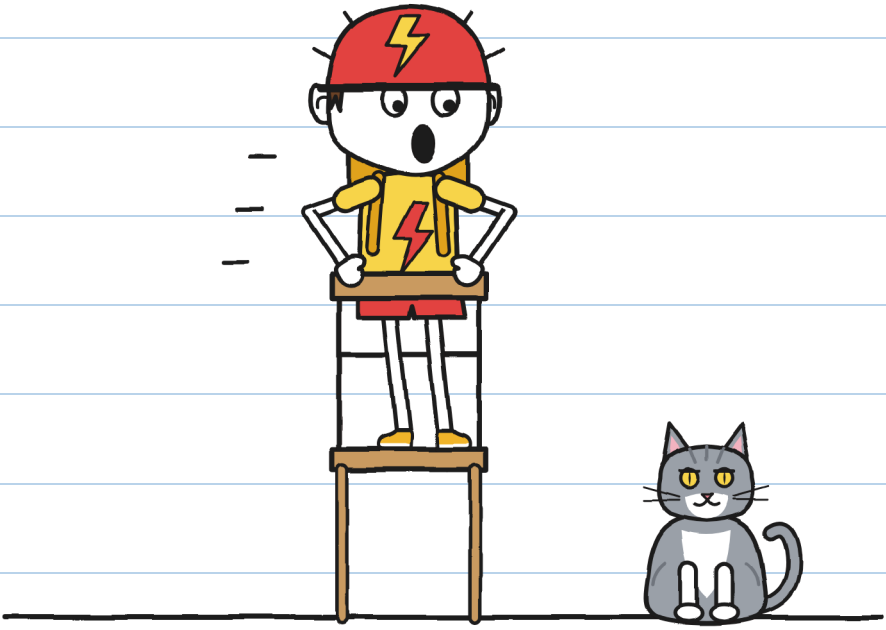


フローラ：ふたつ！

カミナリも おいかけた。

くらくても よく みえる。

トニョは　ねこが　こわい。



「カミナリだよ！」

と　フリータが　いった。

「もっと　こわい！」

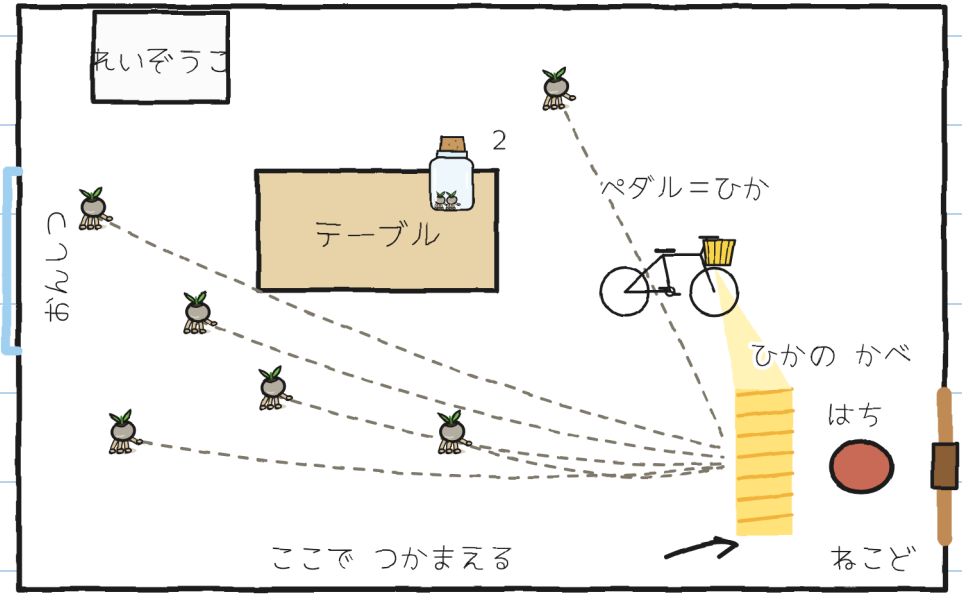
と　トニョが　さけんだ。

びっくりが　ふたつ、なまえは　ひとつ。　—J.

テーブルの したから みえた：

たねは いつも ねこどへ もどる。

ぼくは ちずを かいた。



「トニョ、ライトは ペダルで つく？」

「もちろん」

「きょうは ひかを はいたつ して」

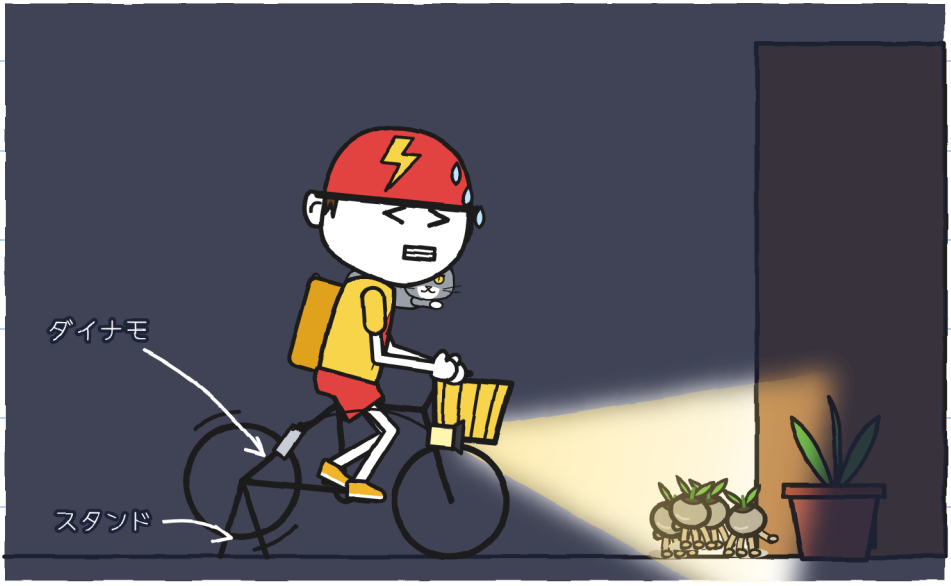
じてんしゃを たてた。

ライトは ねこどを むいた。

そして トニョが こいだ。

トニョは いままでで いちばん はやく

こいだ。カミナリが うえに のった。



イナズマびんも やくに たつ。 ーJ.

たねは ひかの なかで

とまった。ぼくたちは

つかまえた：みっつ、よっつ。

カミナリも くちで

ひとつ つかまえた。

「いつつ！」と フローラが いった。



むっつ。

フローラは びんに ふたを
した。カミナリが テーブルに
とびのって、ひっくりかえした。



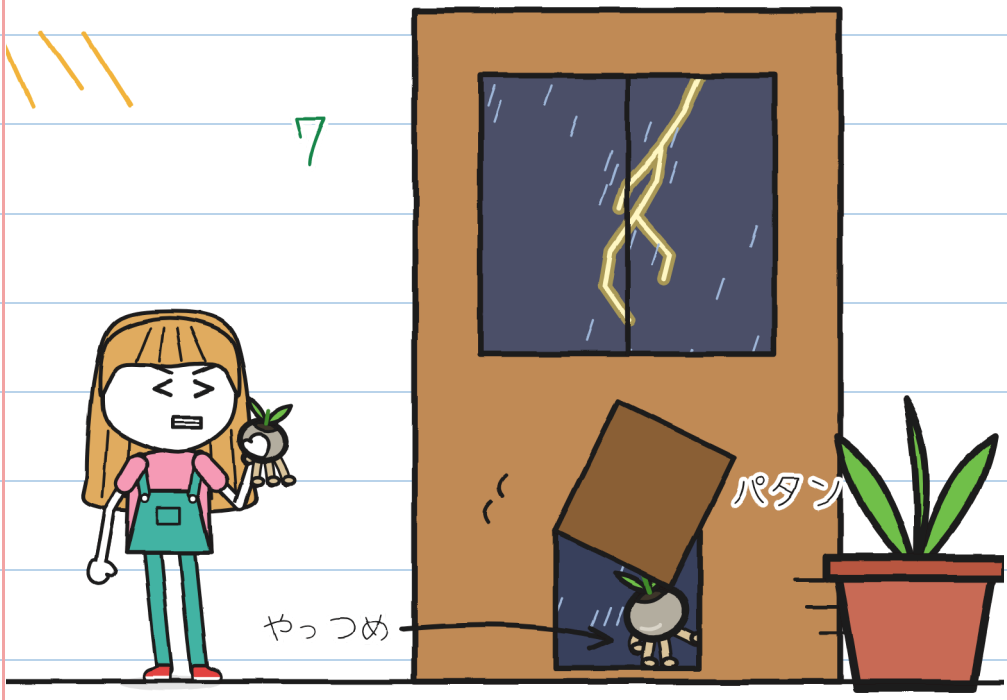
トニョが くうちゅうで つかまえた。
でも トニョが こぐのを
やめた。ライトが きえた。

くらやみで：トト、トト、

トト。ねこどが パタン。

ゆかに たねが ひとつ のこって いた。

フリータが つかまえた。ななつ。



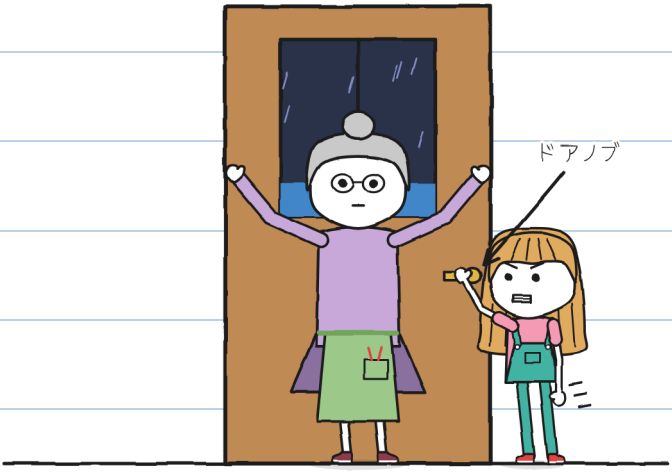
やっつめは ねこどから でて いった。

「とりに いく！」

と フリータは いった。

「かみなりが おちる ときは だれも

ださない」と フローラは いった。



フリータは ドアノブを

はなさなかった。

ねこどが パタン。やっつめは

なしで、カミナリだった。

「ぞう1とう、ぞう2とう」

ゴロゴロ。

「とても ちかい」と フリータ。

「くらやみで うえよう」と フローラ。

「なかで？」と フリータ。

「かみなりは そとに のこる」



フローラは パンくずを みた。

パンくずが ぼくを みた。

そして ヒック。

だい4しょう

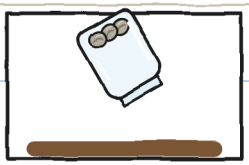
ヒック

ほおずきの うえかた：

ほおずきの うえかた

1. 

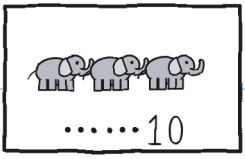
あらしの ぬれた つち。
（みずみちの は だめ）

2. 

びんを あける。
（その まえだと、にげる）

3. 

ぜんぶ くらやみで。
ひとりで うわる。
（じぶんで うめない）

4. 

とおりすぎる まえに：
10より おおいと、
もう うわらない。

フローラが　ハンドルを　まわした。

かいた　みずの　つぶが　おりた。

ほんものの　あめが　かだんに　ふった。



ほんとうの　あらしでは　おんしつは　だめ。　—J.

「ぜんぶ くらやみで」

と フローラは いった。

でも パンくずは もう なかに

いた。かだんの したに。

フローラが ひっぱった。

パンくずは はちに しがみついた。

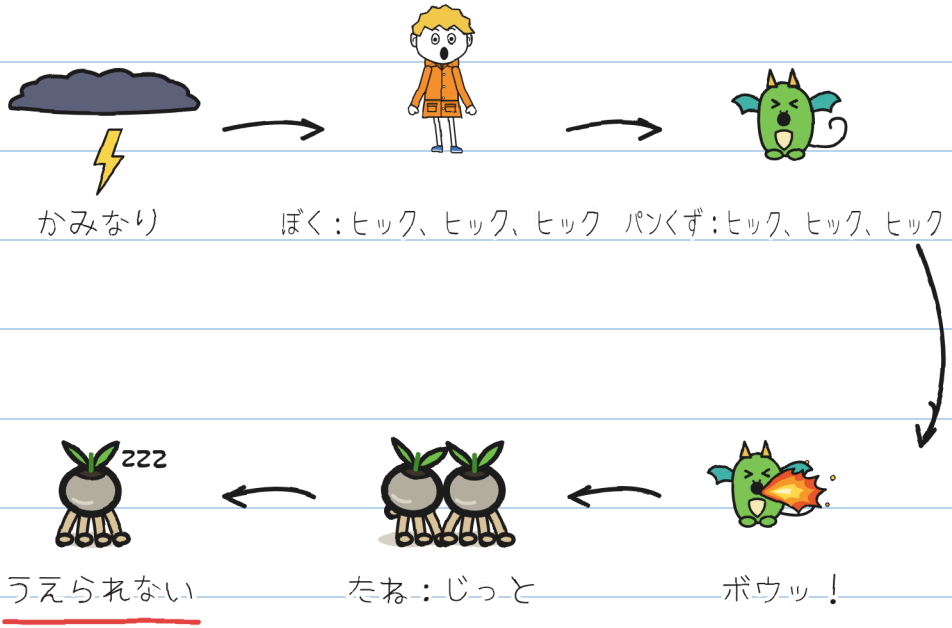


ぼくの ヒックの たびに、

パンくずが ひを ふいた。

わかるように かいた：

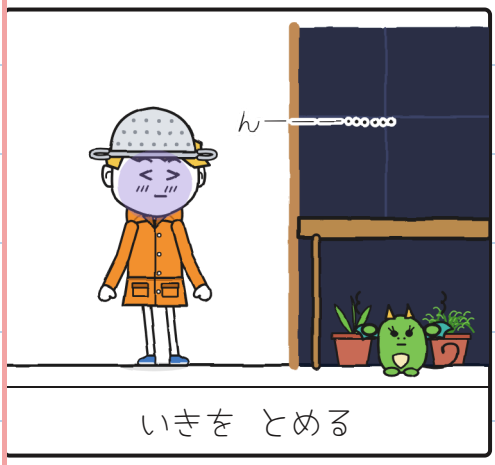
ヒックの くさり



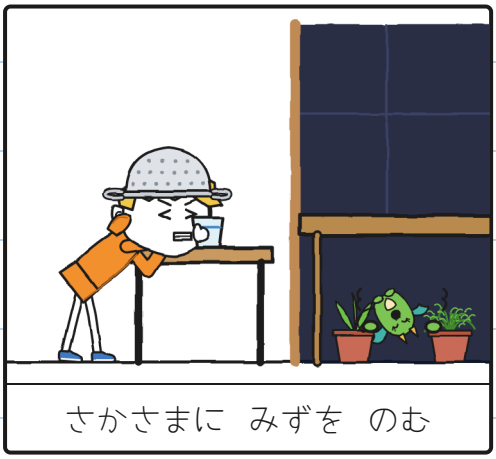
だいどころでは、ヒックが やくに たった。おんしつでは、たたない。

くさりを きらなきゃ。 —J.

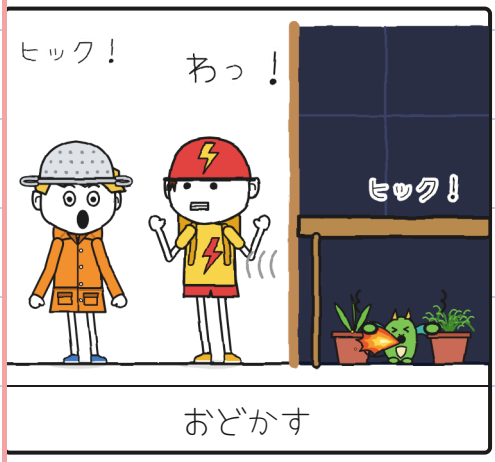
しゃっくりの おまじないを ためした：



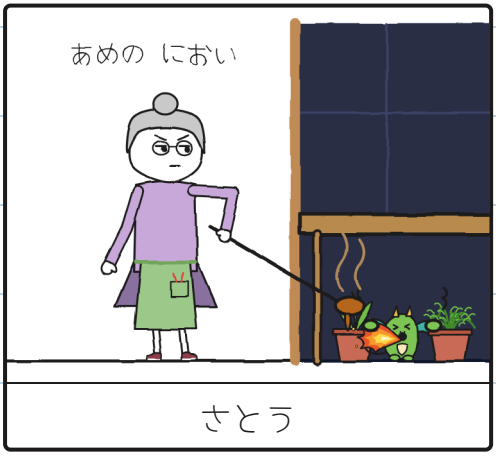
いきを とめる



さかさまに みずを のむ



おどかす



さとう

おまじない：ゼロ。ヒック：たくさん。 —J.

「ぞう4とう、5とう」と フリータ。

ゴロゴロ。さっきより とおい。

ななつの たねが ぐるぐる。

ぼくは ヒック。



「11に なったら？」

「また いしね」と フリータ。

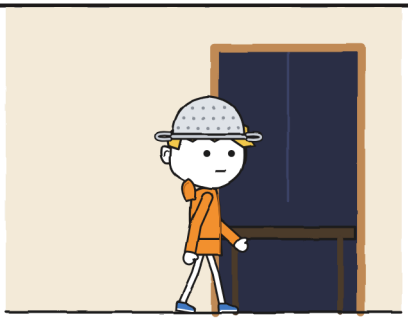
「パンくずは あなたの
こわさを まねして いる」
と フリータは いった。
「そばに いてあげて」
ぼくの プランは もう だめだった：

ぼくの プラン
こわいのを かくす：

1. あらしが だいすきと いう。
2. ~~ヒックを しない。~~ ヒック ヒック ヒック ヒック ヒック
3. ???

3は？ ―J.

ためした。ほんとうに。



かたあしを　なかに。



かみなり。



だいどころに　もどる。

おんしつの　なかは、

かみなりの　おとが　おおきい。

うえを みた。ガラスの
てんじょうから、ベラさんの
ドラゴンが あらしの
なかを とんで いた。



ドラゴンたちは ヒックを しなかった。

「いこう、あらしの ハンター」

と トニョは いった。

じょうだんを まった。こなかった。

ざるを フローラに わたした。



そして ぼくは はいった。

こわさには、きく。 —J.

なかは、あめの おとが
おおきかった。ぼくは かだんの
したに もぐった。パンくずは
ぼくみたいに ふるえて いた。



ゴロゴロ！ ぼくは ヒック。
パンくずも ヒック。
ぼくたちは、あらしの
ハンター ふたり。

はいりくちから、フリータが
ちいさな こえで いった。



「かぞえよう。わたしが いる」

だい5しょう

かぞえよう、わたしが いる

そして ぼくたちは かぞえた。

「ぞう1とう、2とう、3とう、

4とう、5とう、6とう」

ゴロゴロ。さっきより

とおくに おちた。



ぞうを 6とう かぞえた。

こわいのは まだ ここに あった。

ほんとうの ことを いって みた。



「かみなりが こわいんだ」

「しってる」と フリータは いった。

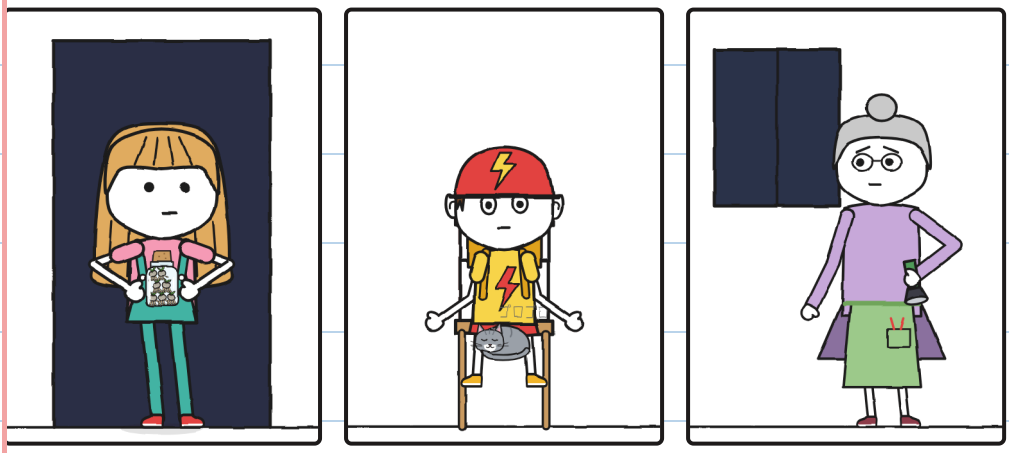
6ページに かいて いたでしょ。

「ぼくは ねこが こわい」

と トニョは いった。

「わたしは、まつのが こわい」

と フローラは いった。



わたしは はしが こわい。 ーJ.

だれも　わらわなかった。ぼくは
もう　ひとりじゃ　なかった。
ゆっくり　いきを　した。



ここのつまで　かぞえた。
ヒックは　でなかった。

「いま！」と フローラが ささやいた。

フリータは つまさきで はいった。

びんを あけたまま おいた。

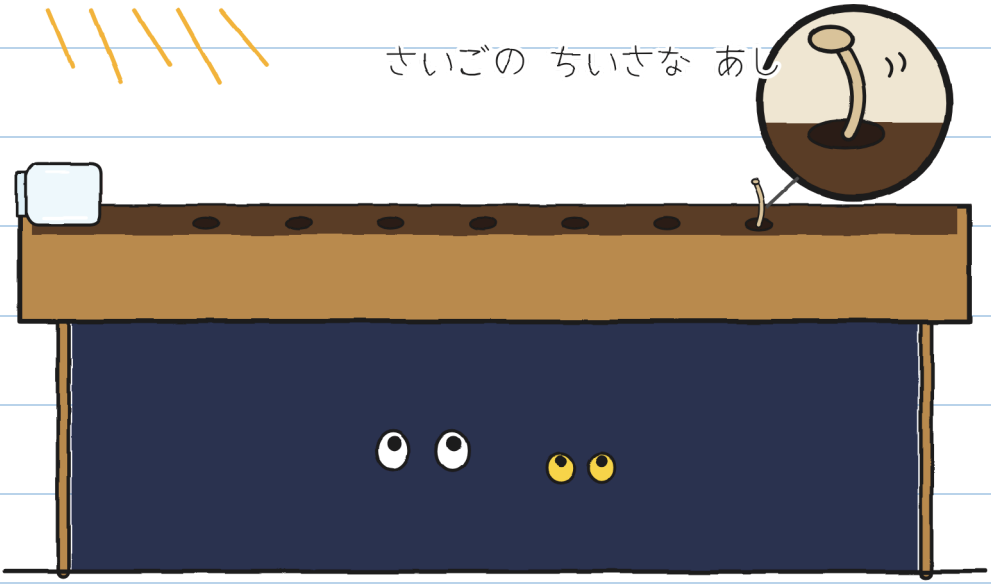


トト、トト、トト。びんから

なにかが でて きた。

じゅうまで かぞえた。ゴロゴロ。

そして みえた：



びんは からっぽ。つちに

ちいさな あなが ななつ。

そして さいしょの が ひかった。

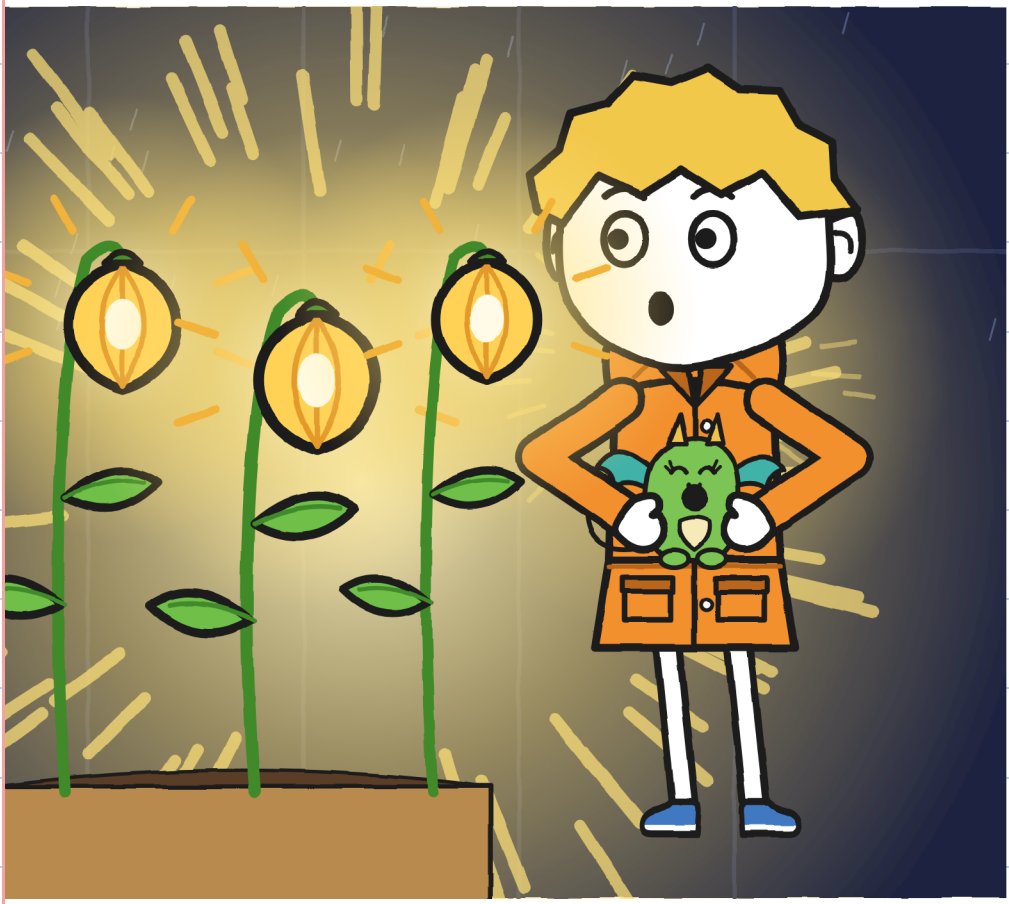
ほおずきが ななつ。どれにも
いなびかりの かけらが はいって
いた。



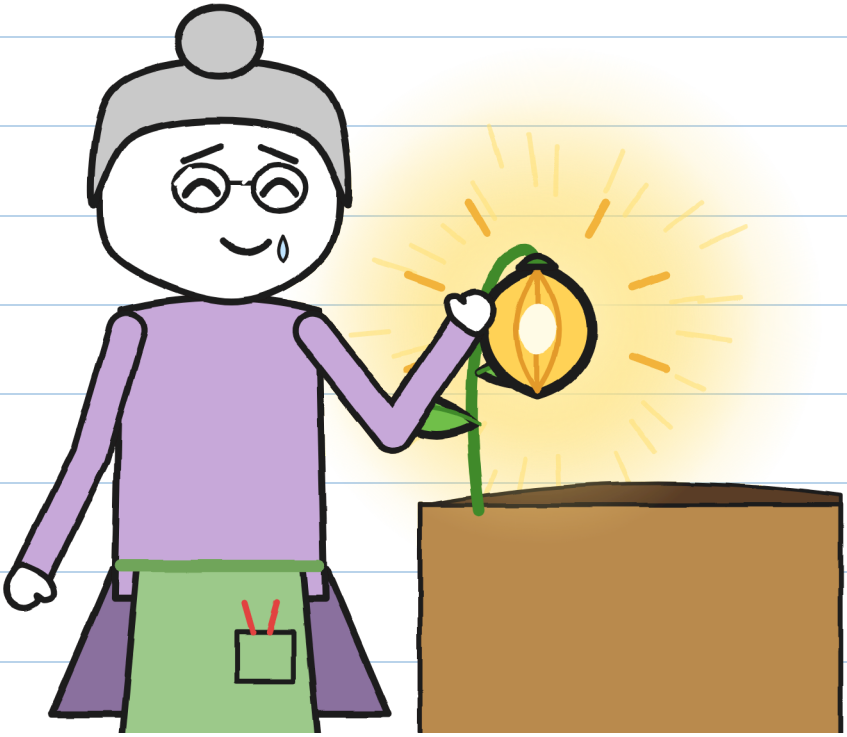
パンくずは ヒックしなかった。

ぼくと おなじ ように、

ほおずきを みて いた。



フローラは ほおずきに
ゆびで ふれた。
「うんがぞいの みちは
こんなだった」と いった。



ぼくも さわった。あたたかかった。

フローラは　ペンを　だした。

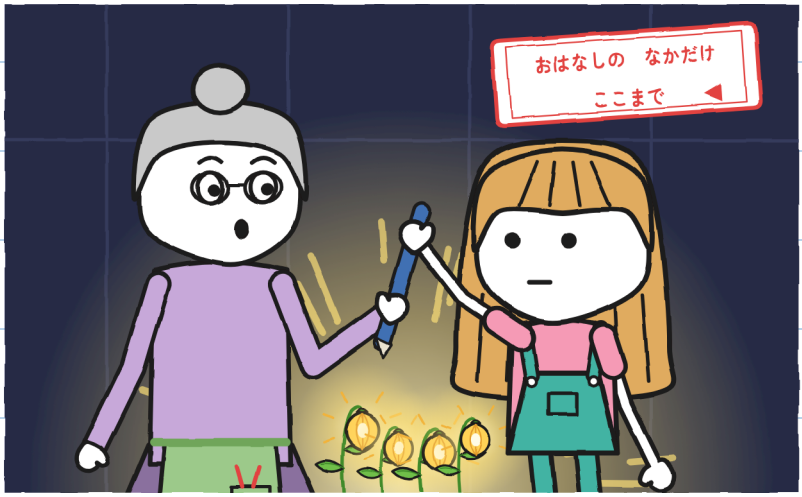
やっと　サインだ。

フリータが　とめた。

「まだ。ひとつ　たりない」

と　フリータは　いった。

それから　ラベルを　はがした。



ぜんぶ　そろって　はいたつ。　—J.

さいごの かみなりから
さんじゅっぷん まった。もう
あめは ふって いなかった。



やっつめは まだ そとに
いた。くらやみ。
サインが なければ、
2ばんは よあけに もどる。

「さがしに いこう」

と フリータは いった。

フローラは へいを さんかい

たたいた。ベラさんを よんだ。



「こんどは ふたりだけじゃ

ない」と いった。

だい6しょう

やっつめ

フローラと　ベラさんと　でた。ぼくは
パンくずを　レインコートに　いれた。
にわと　うんがを　さがした。



なにも　ない。どの
いしでも　おかしくない。

ちいさな ほおずきは、

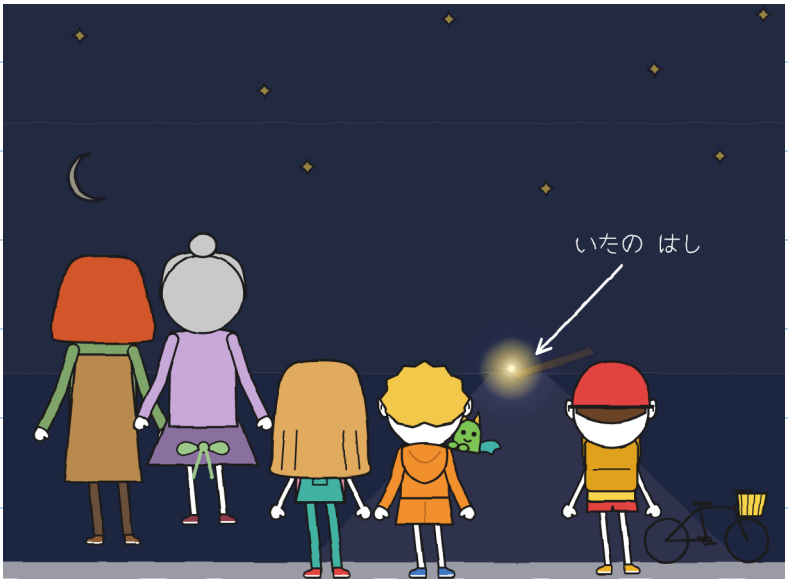
あかりが あると みえない。

「あかりを けして」

と ぼくは いった。

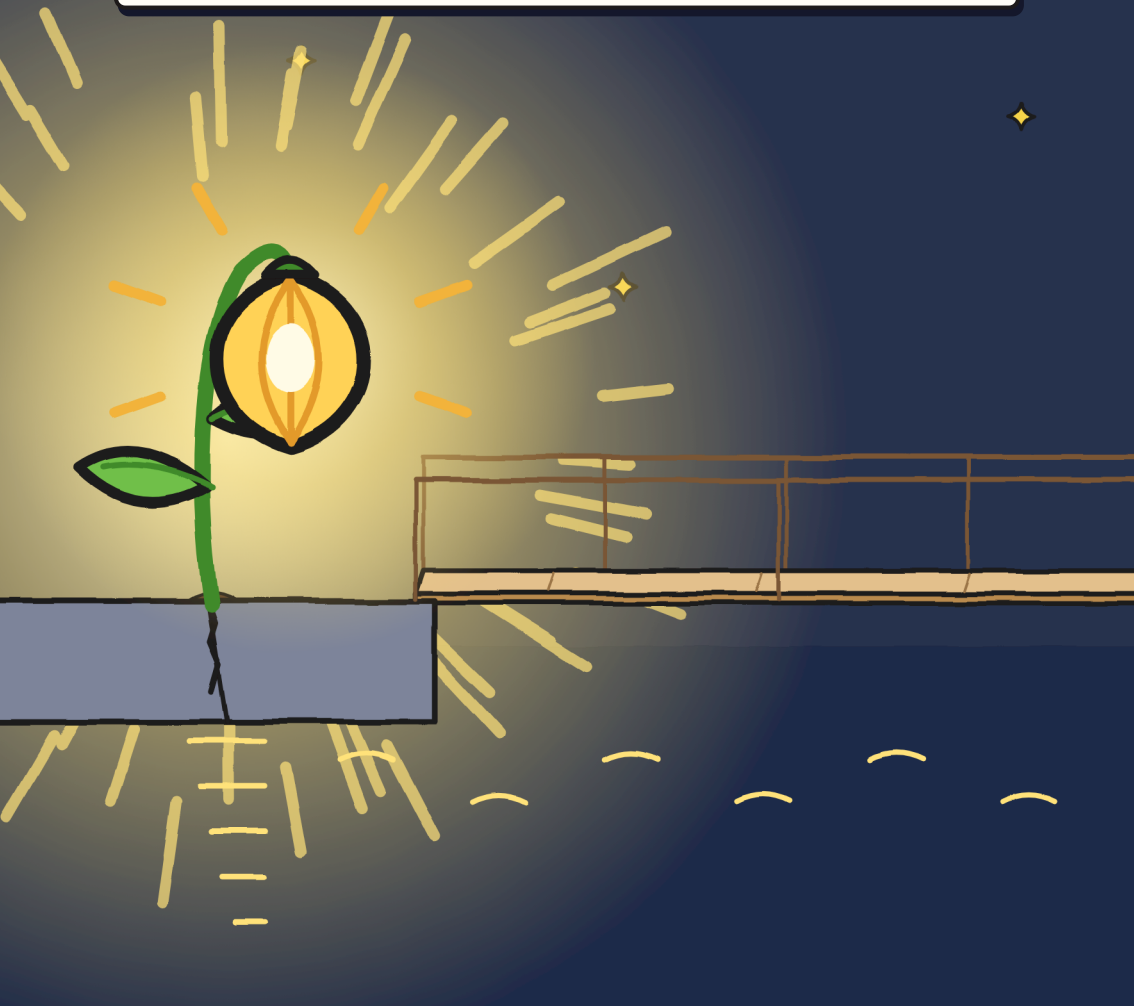
ぼくたちは じっと して いた。

おくに ちいさな あかりが あった。



はしの ふもとに。

あめが こみちから みちまで
ながして きた。ひとりで はしの
ふもとに ねづいた。とおくからは
ちいさな あかり、ちかくでは
ぜんぶを てらした。



フリータは はしを みた。

あかりが あると ちがって みえた。

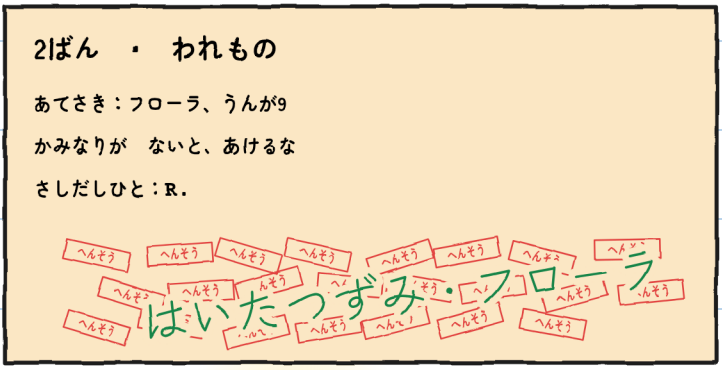
はしに あしを のせた。

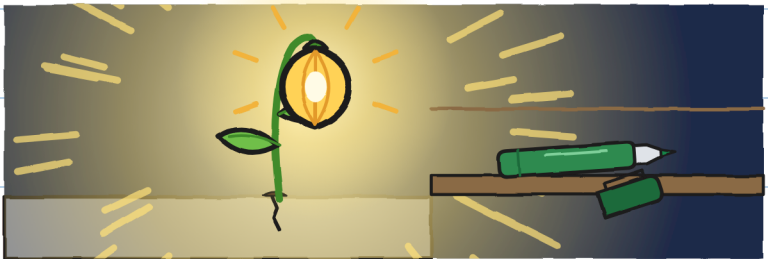
それから ひいた。



もう ほとんど こわく ない。 —J.

「この こは ここに のこる」
と フローラは いった。
みどりの インクで サインした。





フローラは ざるを くれた。
「つぎの あらしの
ために」と いった。

ベラさんが バンで みせまで
おくって くれた。ドラゴンたちの
ところへ もどって いった。
みせは くらかった。
マラさんは いなかった。
カウンターの したに いた。



「もう すんだ？」

と マラさんが きいた。

もうふ。みみあて。

ヘルメットが わりの こなべ。

「ぼくも、かみなりが

こわいんです」と いった。

マラさんは もうふを もちあげた。



ぼくも その したに もぐった。

マラさんは トニョに はこを おいた。

「あなたの ばしょよ」

トニョは リュックに

「ねこも」と かいた。



いまは ほんとうの こと。 —J.

かみなりの ための
プランを なおした：

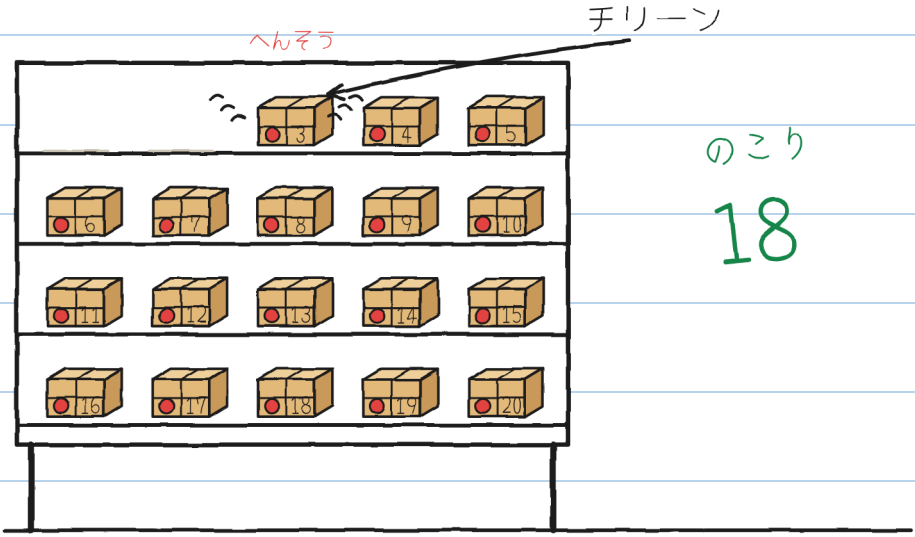
1. ぞうを かぞえる。
2. だれかと いっしょに。
3. ヒックは きに しない。

のこり

~~19~~ 18



「ハンター」って いわない こと。 —J.



のこり

18

もどってきた にもつが

なった：チリーン。

3ばん

トニョちゃんへ

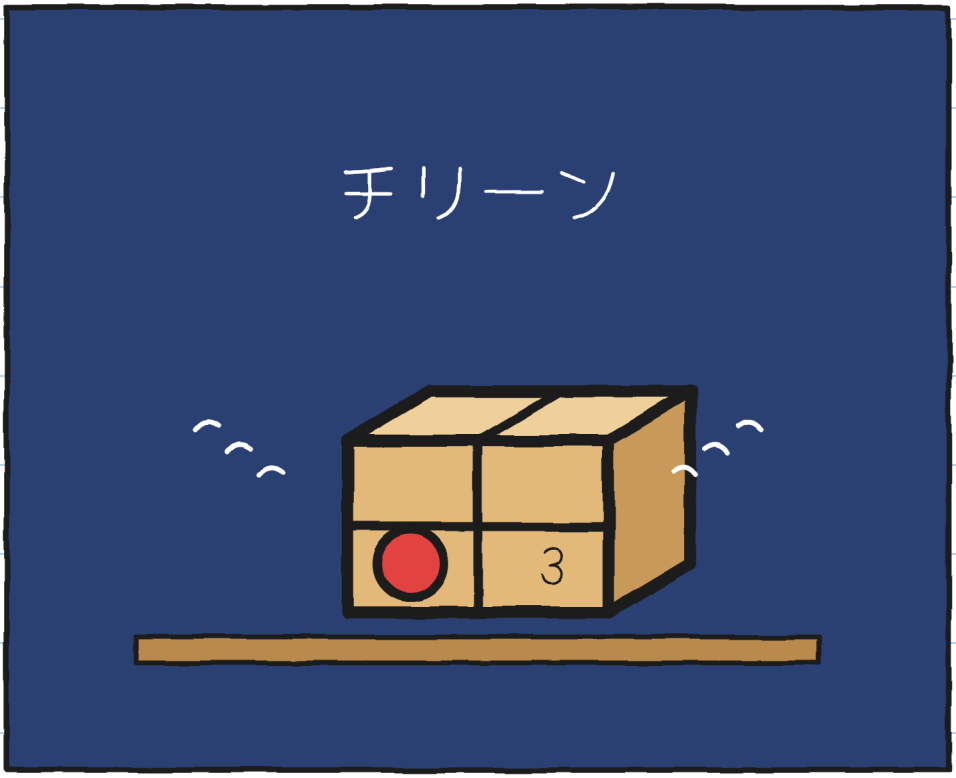


トニョは まっあかに なった。



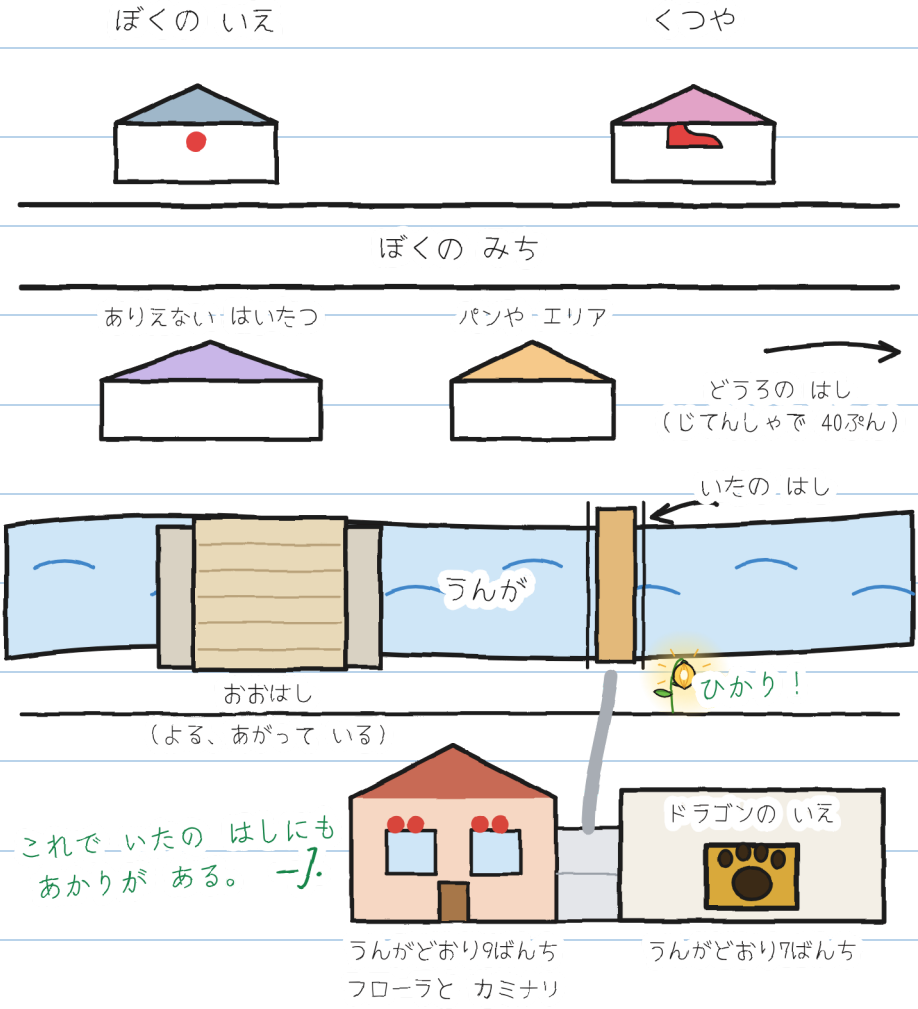
ありえない はいたつ ・3

（もうすぐ）



だれが トニョに にもつを おくるの？ ーJ.

まちの ちず（バージョン2）



R.の こと



R.

1. ひどい じ（マラさん）。
2. ベラさんは まっあおに なった。
3. フローラと ほおずきを うえて いた。
4. おそくても、やくそくは まもる。
5. まほうの ガラスを つくった。

6. だれも なまえを いわない。 ―J.

きみは？ R.は だれだと おもう？

R.は たぶん……

ひとつの おはなし、むっつの サイズ

六つの サイズが ある。3さいから
16さいまで。ことばは 20いじょう。

サイズ XXS · PRE-A1
フリータが ななつめの たねを つかまえる。

サイズ XS · A1
ゆかに たねが ひとつ のこって いた。フリータが つかまえた。ななつ。

サイズ S · A2
また いなびかり。ゆかには たねが 一つ のこって いた。フリータが つかまえた。七つ。

サイズ M · B1
次のいなびかりで、ゆかにのこっていたのはたねが一つ。フリータがつかまえた。七つ。

サイズ L · B2
また稲光が光ったとき、ゆかにはたねがただ一つのこっていて、フリータがつかまえた。七つ。

サイズ XL · B2-C1
イラスト小説 · 13+
CEFRのレベルは目安です。

おなじ あらし。 —J.

おうちの ひとと せんせいへ

linguaula.comで しょうごとに れんしゅう

本当の あらし：どうする？

1. かみなりが きこえたら、とおくても いえの なかへ。かみなりは もう、あなたの ところまで おちて くるかも しれない。
2. おとなの ひとと いっしょに なかに はいり、まど、ドア、ガラスから はなれる。おんしつ、はし、き、みずには ちかづかない。
3. さいごの かみなりから 三十分は 外に 出ない。
4. ぞうを かぞえると、かみなりが ちかいか とおいかが わかる。おちつくのにも いい。でも、いつ そとに でて いいかは わからない。

あなたの あらしを かぞえよう

おうちの なかから：ぞうを かぞえる。

いなびかり	ぞう	キロメートル (3とうで 1キロ、だいたい)	あの いなびかりは、ちかい？ とおい？
1	15	5	ー
2	9	3	もっと ちかく